



まつざき真琴 県議会ニュース

日本共産党

2014年
3月16日号
一般質問特集②

発行／日本共産党鹿児島県議団
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 TEL/FAX 286-3977
E-mail kengidan@jcp-kagoshima.com HP <http://jcp-kagoshima.com>
★ブログ『まこっちゃんのいっぺこっぺ奮闘記』<http://matsuzakimakoto.synapse-blog.jp/>

ご意見・ご要望を
お寄せください

まつざき真琴県議は、3日に一般質問に立ち、安倍政権への評価や徳洲会グループの知事選支援、原発再稼働や特別支援教育の充実などについて、質問を行いました。その中で今回は、特別支援教育の充実についてお知らせします。

離島の分校・分教室、長距離長時間通学、高等部設置など 特別支援教育の充実を求めて

まつざき真琴県議は、右記のように鹿児島の特別支援教育の現状を示し、その充実を求めました。



伝統的工芸品のPRのため、大島紬を着用して、一般質問に立つまつざき真琴県議

桜ヶ丘養護学校には、高等部がないため、北部の鹿児島養護か、中部の武岡台養護の高等部に移ることになり、これまでより朝夕の通学に時間がかかることとなります。また、屋久島においては、養護学校がないため、屋久島の子どもたちは小学校入学時から、親元を離れて種子島の中種子養護学校に行かなければなりません。

出水養護学校では、遠方からスクールバスで通っており、バスは増便され、ほぼ直行で運行するようになっていますが、学校までの距離が遠いことから、ハンディを持った子どもたちが、朝夕、自宅から学校まで60分をはるかに超える時間をかけて通学しなければならない現状にあります。

今議会に提案されている「障害のある人もない人も共に生きる鹿児島づくり条例」の第13条において「教育委員会は、障害のある人が教育を受ける場合において、障害のある人の年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育が受けられるようにするための教育上必要な支援を講じなければならない。」と規定されています。

この規定にあるように「教育上必要な支援」を行っていくうえで、教育委員会は、障害を持つ児童生徒がより身近な地域で親元から通学できる環境を保障することが必要だと考えますが、本県における養護学校の配置のあり方について、どうあるべきだと考えられますか。

教育長の答弁

●『特別支援学校のない離島において、島外の特別支援学校に就学せざるを得ないケースがあることや、特別支援学校が遠距離にあるため、通学時間が長くなるケースがあることについては、県教委としても、それらの状況を把握している。』『今後とも各学校の状況を十分に把握しながら、教育環境の充実に努めてまいります。』

●『特別支援学校については、平成21年2月の県特別支援教育施設整備検討委員会の提言等を踏まえ、知肢併置化や高等部未設置校への対応、また、本県初となる高等特別支援学校の開校等を進めてきたところ。』『特別支援学校の配置の在り方については、地域バランスの観点とともに、本来、特別支援学校に求められる専門性や学習効果等を担保できる児童生徒の学習集団や教職員の指導体制、専門的施設等の確保などを総合的に判断すべきものと考えており、本県においては、そうした観点からは概ね適切な学校配置になっているのではないかと考えている。』

左記の答弁でした。

今後とも、親元から高等部まで安心して通える特別支援学校の配置を求めて頑張ります。



オスプレイ着陸中止を県知事に申し入れしました



申し入れ書を渡すまつざき真琴県議

米軍新型輸送機オスプレイが種子島空港に飛来（6、7日）した問題で、まつざき県議は、日本共産党鹿児島県委員会と奄美、熊毛両地区委員会は11日、県知事あてに米軍機の低空飛行や県内空港への着陸を行わないよう、政府や米軍に要請を求めました。



種子島空港に飛来したオスプレイ

まつざき県議は、オスプレイは「未亡人製造機」と呼ばれる大変危険な欠陥機であり民間空港への飛来は許せないと指摘。奄美での度重なる低空飛行で住民は不安を募らせているとして「県民を守る立場で米軍に抗議するべきだ」と要請しました。